

公益財団法人トヨタ財団

研究助成プログラム「つながりがデザインする未来の社会システム」
特定課題「先端技術と共創する新たな人間社会」

「つながり」から考える未来社会

研究助成プログラム「つながりがデザインする未来の社会システム」と特定課題「先端技術と共創する新たな人間社会」の合同ワークショップ（公開）を開催します。

「『つながり』から考える未来社会」というテーマのもと、2つの議題を設定し、それにかかわる助成プロジェクトの発表と、有識者を含めたパネルディスカッションを行います。助成プロジェクトの知見を広く共有し、未来に向けて参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

日時

2023年10月21日（土）13:30～17:00

（会場受付開始 13:10～）

形式

ハイブリッド開催

会場：新宿三井ビル29階会議室（東京都新宿区西新宿2-1-1）
オンライン：Zoomウェビナー（後日、アーカイブ版公開予定）

対象

助成対象者、本プログラムに応募を検討されている研究者や実践者の方など、どなたでも参加いただけます



プログラム

13:30～13:35

開会あいさつ

中西 寛 氏（研究助成プログラム選考委員長、京都大学大学院法学研究科 教授）

13:35～15:05

第1部「デジタル技術がつなぐ新しいコミュニケーション」

〈発表〉 岡 勇樹 氏（株式会社デジリハ 代表取締役）

先端技術：D19-ST-0014：デジタルアートやセンサーなどの活用による障害児・健常児が主体的に共生できる社会づくり

松井 崇 氏（筑波大学体育系／スポーツイノベーション開発研究センター 助教）

先端技術：D20-ST-0034：eスポーツ科学の推進—スポーツ科学とICTの融合で生み出す次世代スポーツの社会実装に向けて

小野 悠 氏（豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 准教授/学長補佐）

研究：D22-R-0046：ニューノーマル時代の地域自治デザイン—自治会DX社会実験を通じて

〈パネルディスカッション〉

ファシリテーター：隠岐 さや香 氏（東京大学大学院教育学研究科 教授）

パネリスト：木村 康則 氏（科学技術振興機構研究開発戦略センター 上席フェロー）

佐倉 統 氏（東京大学大学院情報学環 教授）オンライン参加

発表者3名

15:05～15:20

休憩

15:20～16:50

第2部「学術と社会のエンゲージメント」

〈発表〉 鈴木 研悟 氏（筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域 助教）

研究：D21-R-0061：ゲーミングを活用する持続可能な将来ビジョン共創の提案—ミニ・スマートアース構想を題材として

富永 京子 氏（立命館大学産業社会学部 准教授）

研究：D22-R-0031：空き家・空き店舗の活用による都市コミュニティ形成—若年自営業者の創造的労働と協同の場として

北崎 允子 氏（武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科 教授）

先端技術：D21-ST-0015：市民共創でデザインする未来のパーソナルデータ利活用のあり方

〈パネルディスカッション〉

ファシリテーター：中西 寛 氏

パネリスト：木村 康則 氏

佐倉 統 氏（オンライン参加）

発表者3名

16:50～17:00

閉会あいさつ 木村 康則 氏

財団からのお知らせ

※プログラムの内容、順序は変動する場合があります。

【お知らせ】

2023年度「特定課題」先端技術と共創する新たな人間社会
公募受付中

公募説明会や個別の事前相談も行います。詳細はホームページをご覧ください。

ホームページ：<https://www.toyotafound.or.jp/>

お問合せ：society-tech@toyotafound.or.jp

プロジェクトの成果/成果物のご紹介

助成プロジェクトの成果/成果物を多数ご報告いただいております。ここでは主に2022年～23年に報告されたものの中からその一部をご紹介します。

また本パンフレットのPDF版では成果/成果物の詳細をリンクからご覧いただけます。

その他、論文や学会発表などを含めた成果/成果物、助成対象情報についてはトヨタ財団ホームページをご覧ください。

パンフレットのPDF版はこちら→→



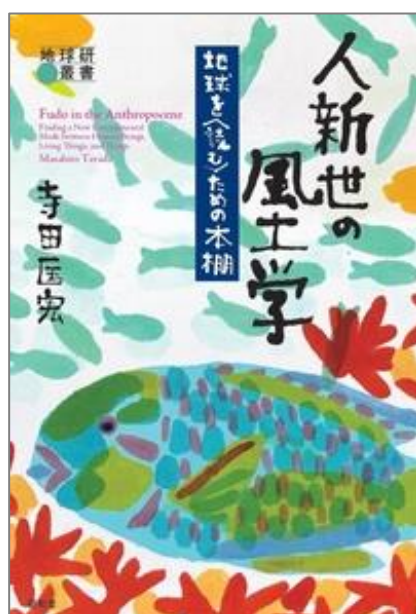
プロジェクトの成果（書籍・報告書・Webなど）



先 D18-ST-0008 江間 有沙
政策提言「AIガバナンス協調への道筋：
G7サミットに向けた政策提言」



先 D18-ST-0028 高岡 昂太
ブックレット「福祉分野における自治体の
デジタルトランスフォーメーション」



先 D18-ST-0043 熊澤 輝一
書籍「人新世の風土学 -地球を
〈読む〉ための本棚」



先 D18-ST-0043 熊澤 輝一
ガイドブック「未来会話からつくる社会」



先 D19-ST-0025 標葉 隆馬
報告書「分子ロボットをめぐる市民対話」に基づく「ELSI論点モデル」の構築



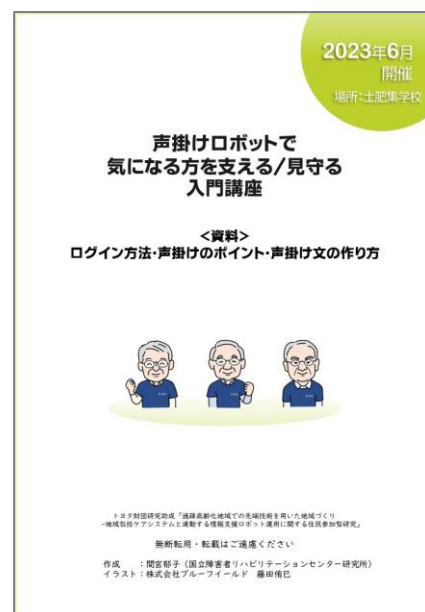
先 D18-ST-0051 寺田 麻佑
ワークショップ記録「バックギャモンにおける、人工知能（AI）が果たす役割について」



先 D19-ST-0012 小塩 靖崇
Webサイト「よわいはつよいプロジェクト」



先 D20-ST-0017 大門 公彦
報告書「令和4年度 地域の支え合いに生かす声掛けロボットの運用体制づくり」



先 D20-ST-0017 大門 公彦
マニュアル「声掛けロボットで気になる方を支える/見守る入門講座」



研 D21-R-0109 歌川 達人
調査報告書「映像業界ジェンダーギャップ調査2022 ~映画界の職能団体編~」



研 D21-R-0042 嶋田 拓郎
ブックレット「なにそれ!? 介助付き就労」



研 D21-R-0091 佐藤 絵理
白書「ひとり親けんこう白書」



先 D21-ST-0015 北崎 允子
Webサイト CoDa (Co-speculation for future Data use)



研 D22-R-0005 綿村 英一郎
Webサイト「児童相談所の後方支援を担える社会システムの構築」

プロジェクトの成果 (イベント)

第5回 FTIC&HarPジョイント国際シンポジウム in Tokyo
Future of Person-centred Robotics-aided Care in France, Hong Kong SAR, China, Ireland and Japan

日時: 2022年6月19日 (日) 午後1時30分~午後6時(日本時間)
場所: 日本福祉大学 東京(新橋)サテライトキャンパス
ハイブリッド・イベント(対面&オンライン)

超高齢化が進むアジアと欧州: 介護ロボットの未来は?

登壇者(敬称略)

- 増山 茂 (FTIC理事、東京医科大学教授)
- 尾林和子 (日本福祉大学教授)
- 小舘尚文 (HarP代表、アイルランド国立大学ダブリン校(UCD)准教授)
- ボリス・オレイ (フランス国立衛生医学研究所(Inserm) & IRISリサーチフェロー)
- 余文偉 (千葉大学教授)
- 前田百合恵 (ダブリン工科大学専任講師)
- セラ・ドノリー (UCD専任講師)
- 張美珍 (香港中文大学副教授)
- ハンム・マナン (UCD准教授)
- 辻村真由子 (遊覧医科大学教授)
- 本田幸夫 (東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 厚生労働省介護ロボット担当)
- セバスチャン・ルシュバリエ (EHESS 日仏財団 (FFJ) 理事長)
- 諏訪さかり (千葉大学大学院看護学研究科准教授)
- 二瓶美里 (東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻准教授)
- 山口晴保 (産業技術総合研究所 (AIST) インダストリアルCPS研究センター)
- 中坊嘉宏 (インダストリアルCPS研究センター)
- 柴田智広 (九州工業大学教授、日本ロボット学会介護ロボット研究専門委員会委員長)
- 坂田信裕 (岡山医科大学教授情報基盤センター長、スマート医療研究部門長)
- 田島誠一 (YWCA ヒューマンケアサポートサービスセンター代表)

協賛機関: THE TOYOTA FOUNDATION, 東京聖新会, 東京大学, 九州工業大学, 岡山医科大学, YWCA ヒューマンケアサポートサービスセンター, 産業技術総合研究所 (AIST), インダストリアルCPS研究センター, 遊覧医科大学, 香港中文大学, 千葉大学, 日本福祉大学, 東京医科大学, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED), 厚生労働省, EHESS 日仏財団 (FFJ), 東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻, 東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター, 遊覧医科大学, 香港中文大学, 千葉大学, 日本福祉大学, 東京医科大学, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED), 厚生労働省, EHESS 日仏財団 (FFJ), 東京大学大学院看護学研究科, 産業技術総合研究所 (AIST), インダストリアルCPS研究センター, 九州工業大学, 岡山医科大学, YWCA ヒューマンケアサポートサービスセンター

http://www.usao.or.jp/ftic/ https://twitter.com/FTIC_Japan/

先 D18-ST-0005 小舘 尚文
「第5回FTIC&HarPジョイント国際シンポジウム in Tokyo」

AUGMENTED HYENAS
BY NOISE SCAVENGERS (SOUND ARTISTS WITH NEURODIVERSITIES)

DISRUPTIVE CRITTERS
BY DHD (JONATHAN DUCKWORTH & JAMES HULLICK)

PARACOLLIDER
AUDIOVISUAL COLLABORATION BY CALLYALL & TAKASHI HAKINO

THE MOTHER IN THE SILVER MOUTH
PERFORMED BY RYOKO AOKI, COMPOSED BY HULLICK

HAGOROMO
PERFORMED BY THE AMPLIFIED ELEPHANTS

STRANGE JAMES
PERFORMED BY JAMES HULLICK AND AKIKO NAKAYAMA

Presents **JOLT Showcase Tokyo**
2023.9.24 (SUN)
横浜 BankART Station
open/start: 15:00/15:30 door: FREE

supported by SUPERDELUXE /// TEST TONE /// RITSUMEIKAN UNIVERSITY /// RMIT UNIVERSITY /// SLOW LABEL

先 D19-ST-0015 望月 茂徳
アートパフォーマンス「JOLT Showcase Yokohama 2023」

DIGITAL INCLUSIVE SUMMIT

Presented by **デジタル**

— デジタルによる革新とその限界値 —

先 D19-ST-0014 岡 勇樹
オンラインイベント「DIGITAL INCLUSIVE SUMMIT 2023」

SCIENCE AGORA 2022

(サイエンスアゴラオンライン) 10月20日(木)~22日(土)
(前夜祭) 11月1日(火)
(サイエンスアゴラ実地開催) 11月4日(金)~6日(日)

アクセス ACCESS

Twitter Facebook 科学技術振興機構 Google 検索

開催概要 OUTLINE | 参加方法 PARTICIPATE | サイエンスアゴラオンライン ONLINE | サイエンスアゴラ実地開催 ON-SITE | 企画一覧 PROGRAMS | 開催に よせて MESSAGE | 推進委員会 COMMITTEE | 開催報告 REPORT

No.513 11月5日(土)~11月6日(日)※2日間 **ブース企画**

分子でロボットをつくる? -分子ロボティクスの世界
Introduction to Molecular Robotics

標葉隆馬、小宮健、瀬ノ上正浩、小長谷明彦、河村賢、武田浩平、森下翔
Ryuma Shineha, Ken Komiya, Masahiro Takinoue, Akihiko Konagaya, Ken Kawamura, Kohei Takeda, Sho Morishita
場所:テレコムセンタービル 5Fブース

企画概要

分子ロボット技術は、DNAコンピューティングなどの技術を背景としながら、DNAやRNAなどの生体分子を素材としたロボットのデザイン・構築・活用を目指してきた領域です。
分子ロボット技術は現時点においては、社会実装前の上流段階にある萌芽的科学技术ですが、だからこそ、研究開発の上流段階から、当該技術が社会の中で活用されるビジョンの形成と、潜在的な期待や懸念の可視化をボトムアップの議論に依拠しながら行っていく必要があります。
本企画では、分子ロボット技術の今を知っていただくと同時に、この技術の将来像について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

先 D19-ST-0025 標葉 隆馬
イベント「分子でロボットをつくる? -分子ロボティクスの世界」



先 D20-ST-0034 松井 崇
イベント TSUKUBA CONNECT #49



先 D20-ST-0034 松井 崇
筑波大学eスポーツ大会「OWL GAME」(VALORANT)



研 D21-R-0042 嶋田 拓郎
介助付き就労学習会



研 D21-R-0091 佐藤 絵理
「ひとり親けんこう白書」完成報告イベント



研 D21-R-0109 歌川 達人
シンポジウム「女性映画人で語り合う、日本映画のこれから
～映画界のキャリアパス編～」



研 D21-R-0061 鈴木 研悟
シンポジウム「ゲーミングを活用する持続可能な
将来ビジョンの共創に向けて」

助成対象者一覧

2023年度～2021年度 研究助成プログラム

2023年度

D23-R-0024	山中 司 (立命館大学生命科学部 教授)	生成系AIが革命的に変える大学英語教育の新たな方法と概念—教員から英語を学ばないシステム構築と教室環境デザインの実装
D23-R-0026	中澤 未美子 (山形大学学術研究院 准教授)	「本当に多様な働き方を促進できる職場」についての研究—障害者雇用の現場でロボットと創る
D23-R-0028	山梨 裕美 (京都市動物園生き物・学び・研究センター 主席研究員)	動物園でかたちづくると動物の共生の形—動物福祉の評価と実践
D23-R-0036	石川 満佐育 (鎌倉女子大学児童学部子ども心理学科 准教授)	発達支援アプリの導入効果に関する研究—発達支援アプリは学校現場にどのような影響をもたらすのか
D23-R-0043	那須 識徳 (農協共済中伊豆リハビリテーションセンターリハビリテーション部作業療法科 主任)	傷病後の自動車運転中断者に対する地域社会参加の支援体制構築
D23-R-0045	菰田 レエ也 (鳥取大学地域学部地域学科地域創造コース 専任講師)	ひきこもり当事者と地域プラットフォームの協働に基づく新しい価値観と社会システムの構築
D23-R-0055	下向 依梨 (株式会社roku you 代表取締役社長)	子どもおよび地域社会のウェルビーイングの向上を実現するための、学校を中心とした「システミックな変革方法」の確立
D23-R-0057	原 朋弘 (武蔵大学経済学部経済学科 専任講師)	脆弱な社会における民族融和と市場分断の緩和—ターゲティングとフィールド実験
D23-R-0085	川口 博子 (大阪大学人間科学研究科/日本学術振興会 特別研究員PD)	戦後社会の現在から未来を創造する賠償デザイン—グローバルとローカルをつなぐ変革的正義の実現をめざして
D23-R-0088	任 喜史 (特定非営利活動法人ASHA 代表理事/国際教養大学応用国際教養教育推進機構 研究員)	高齢者の健康と学生の学び・愛着の循環を生む地域と地方大学の「つながり」の仕組み—デジタルを活用した「地域健康サポーター」

2022年度

D22-R-0005	綿村 英一郎 (大阪大学人間科学研究科 准教授)	児童相談所の後方支援を担える社会システムの構築
D22-R-0022	松永 伸太郎 (長野大学企業情報学部企業情報学科 准教授)	趣味縁の場としての消費空間の可能性：アニメファン経験をめぐるメディア環境と都市の産業編成への複合的アプローチから
D22-R-0031	富永 京子 (立命館大学産業社会学部 准教授)	空き家・空き店舗の活用による都市コミュニティ形成：若年自営業者の創造的労働と協同の場として
D22-R-0036	中島 徹 (東京大学大学院農学生命科学研究科 助教)	自然領域における大規模先端計算機資源ネットワーク構築に立脚したニューノーマル時代のフィジカル・サイバー空間の実証的融合
D22-R-0038	永代 友理 (東京大学大学院医学系研究科 博士課程)	偏在から遍在へ：AR技術とICT技術を活用した、病院の枠組みを超え手技を三次元共有する医療手技教育プラットフォームの構築
D22-R-0046	小野 悠 (豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 准教授/学長補佐)	ニューノーマル時代の地域自治デザイン：自治会DX社会実験を通じて
D22-R-0063	石川 英里 (早稲田大学総合研究機構グローバルヘルス研究所研究院講師)	発達障がい児の養育者支援：自助グループ型支援プログラムの開発、社会実装、効果検証
D22-R-0079	下谷 晃司 (Food Loss 0 Project 代表)	東京都内の主要青果物卸売市場内における食品ロスの発生原因と発生量調査、並びにそれらの有効活用方法に関する研究
D22-R-0083	町田 怜子 (東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科 教授)	半自然草地の保全にむけた炭素主流化によるカーボンオフセット創出：温帯域最大の野焼き草地・阿蘇での検証

2021年度

D21-R-0039 池内 朋子（東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム研究員）
社会的孤立高齢者が支援を拒む要因の解明 — 迷惑をかけてもいい社会をめざして

D21-R-0040 SHARIFI Ayyoob (Hiroshima University, Graduate School of Humanities and Social Sciences, Associate Professor)
シャリフィ アユーブ（広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授）
Assessing impacts of the COVID-19 pandemic on compact cities and exploring pathways for green and just recovery based on interlinkages between humans, environment, and technology: Insights from Tokyo and Shanghai
COVID-19がコンパクトシティ化に及ぼした影響評価と人・環境・テクノロジーの相互関係に基づいたグリーンで公正な復興のためのシナリオの模索 — 東京と上海における洞察

D21-R-0042 嶋田 拓郎（一般社団法人わをん 理事・事務局長）
24時間介護が必要な重度身体障がい者の就労にむけた実現戦略 — 介助付き就労を阻む社会システムの合理性を運動論から問いなおす

D21-R-0061 鈴木 研悟（筑波大学 システム情報系構造エネルギー工学域 助教）
ゲーミングを活用する持続可能な将来ビジョン共創の提案 — ミニ・スマートアース構想を題材として

D21-R-0091 佐藤 絵理（東北大学大学院 医学系研究科 博士前期課程）
地域を超えたピアサポートを実現するひとり親支援プログラムの開発 — 「主体性」の回復から「新しい連帯」が実現する過程の検証

D21-R-0092 松山 聖央（武庫川女子大学 生活美学研究所 嘱託助手）
ヒトとモノの承認関係を手がかりとする「自宅」環境の包括的研究 — 環境美学、建築・都市計画論、芸術実践の融合的アプローチから

D21-R-0095 阿部 朋恒（立命館大学先端総合学術研究科 准教授）
地域で学ぶ・地域と学ぶ — ICTを活用したネットワーク構築型フィールド教育モデルの開発

D21-R-0097 佐藤 理恵（ミライ+コロナ 代表）
コロナ禍での交流減・政治不信により深刻化した若者の政治離れ解消のためのDX活用による市民参加型地方自治プロセスの研究

D21-R-0109 歌川 達人（Japanese Film Project 代表）
日本映画業界におけるジェンダーギャップ・労働環境の実態調査

IFI×TFフェロー（東京大学未来ビジョン研究センター×トヨタ財団 協働事業プログラム）

江 欣樺（チャン シンホア）（東京大学未来ビジョン研究センター 特任研究員）
持続可能なリン循環のための科学技術-社会ネットワークの考察 — マルチエージェント・ダイナミクスの視点から

佐野 友紀（東京大学未来ビジョン研究センター 特任研究員）
ステークホルダーの視点から自然とのつながりと、しなやかな地域の未来をデザインする — 選択実験とワークショップによる接近

田代 藍（東京大学未来ビジョン研究センター 特任講師）
自然とのつながりによるGeoAIを用いた地域の気候危機と健康危機への同時適応策の検討

助成対象者一覧

2022年度～2018年度 特定課題「先端技術と共創する新たな人間社会」

★は終了したプロジェクト

2022年度

<共同研究>

D22-ST-0013 赤坂 文弥 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究員)
Infrastructuring Living Labs—リビングラボ実践を支えるインフラストラクチャ構築

D22-ST-0016 大黒 健嗣 (大黒株式会社 代表取締役)
新しい贈与経済圏の構築—ブロックチェーン技術の社会的有用性の検証を通じて

D22-ST-0019 中村 賢治 (群馬大学数理データ科学教育研究センター 講師)
相互扶助関係を構築するメタバース空間とNFCを活用した服薬支援システムの基礎研究

D22-ST-0028 稲荷森 輝一 (北海道大学大学院文学院 博士後期課程)
近未来社会における新しい自由意志・責任概念

D22-ST-0030 大澤 博隆 (慶應義塾大学理工学部管理工学科 准教授)
人工知能と虚構の科学—AIによる未来社会の想像力拡張

<個人研究>

D22-ST-0006 楠瀬 慶太 (高知工科大学地域連携機構 客員研究員)
デジタルプラットフォームによる地域の文化資源継承支援モデルの構築—市民参加型GISの実践活動を通して

D22-ST-0007 小林 正法 (山形大学人文社会科学部 准教授)
テクノロジーの利用が認知機能に与える利益・不利益の解明

D22-ST-0009 龍岡 久登 (関西ヘルスケアサイエンスインフォマティクス 代表理事 / 医療法人はじめ会ゆうき内科 医師)
糖尿病診療でのPHRアプリケーションの普及、継続および利活用における、患者側および医療従事者側の有する問題点の調査

D22-ST-0012 桜井 啓太 (立命館大学産業社会学部 准教授)
科学と技術は貧困を解決しうるか—GIS (地理空間情報システム) ×福祉行政情報を用いた利活用 (沖縄の貧困問題を例に)

D22-ST-0023 松原 妙華 (東京大学大学院情報学環 特任助教)
東洋的視座から考察する技術と共創する人間観・生命観

2021年度

D21-ST-0003 野村 理 (弘前大学大学院医学研究科救急・災害医学講座 助教)
医療従事者のバーンアウトを根源的に予防する感情測定モバイルラボ

D21-ST-0010 荒川 清晟 (東京大学東京大学大学院 情報学環)
コロナ禍におけるXR技術を活用したテレワーク時のメンタルヘルス対策

D21-ST-0012 宮原 克典 (北海道大学人間知・脳・AI研究教育センター 特任講師)
人間と人工主体の共存のあるべき姿を学際的に問うための新たな枠組み「人工主体学」の構築に向けて

D21-ST-0013 櫻井 昌佳 (一般社団法人ZIAI 代表理事)
テクノロジーを活用した“誰一人取り残さない新しいメンタルヘルスケア”

D21-ST-0015 北崎 允子 (武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科 教授)
市民共創でデザインする未来のパーソナルデータ利活用のあり方

2020年度

D20-ST-0009 尾崎 幸謙 (筑波大学ビジネスサイエンス系 准教授)
健全な資本市場形成のための不正会計検知AIモデルの実用化—会計学・法学・統計学の3領域に実務家の視点を加えた融合研究—

D20-ST-0017 大門 公彦 (静岡県伊豆市役所健康福祉部長寿介護課 主査)
過疎高齢化地域での先端技術を用いた地域づくり—地域包括ケアシステムと連動する情報支援ロボット運用に関する住民参加型研究—

D20-ST-0024 鹿野 祐介 (大阪大学 COデザインセンター 特任助教)
「MELSIT」というヴィジョン—領域横断的な「ELSI人材」モデルの共構築と人材育成の協働設計—

D20-ST-0030 山田 達也 (大阪大学医学部医学科、株式会社GramEye 取締役)
海外薬剤耐性菌問題実態調査とAIを用いた細菌診断補助システムの臨床検査室への導入により利害関係者に発生する影響の調査

D20-ST-0033 齋藤 理 (SomeSpice合同会社 代表社員)
地域課題を題材とした高専における実践型IoT教育カリキュラムの研究

D20-ST-0034 松井 崇 (筑波大学 体育系/スポーツイノベーション開発研究センター 助教)
eスポーツ科学の推進—スポーツ科学とICTの融合で生み出す次世代スポーツの社会実装に向けて—



2019年度

D19-ST-0006 高山 嘉顕 (日本国際問題研究所 軍縮・科学技術センター 研究員) 先端技術と国際関係—安全保障・経済・情報通信技術を巡る国際関係に関する課題検討とプラットフォーム形成—	★
D19-ST-0012 小塩 靖崇 (国立精神・神経医療研究センター 地域・司法精神医療研究部 常勤研究員) アスリートへのメンタルヘルス支援アプリの実装による効果検証—対人サービスへの先端技術導入の利点と課題の抽出—	★
D19-ST-0014 岡 勇樹 (株式会社デジリハ 代表取締役) デジタルアートやセンサーなどの活用による障害児・健常児が主体的に共生できる社会づくり	★
D19-ST-0015 望月 茂徳 (立命館大学映像学部 准教授) インクルーシブなデジタルメディアの開発と検証—障害のある人のための創造的な活動とリハビリテーションのデザイン—	
D19-ST-0019 大庭 弘継 (立教大学人工知能科学研究科 特任教授) 社会的意志決定を行うAIの要件—良質なデータセットと望ましいアウトプットの研究	
D19-ST-0025 標葉 隆馬 (大阪大学 社会技術共創研究センター 准教授) 分子ロボットロードマップ構想に向けた分野間・国際間共同研究	★

2018年度

D18-ST-0005 小舘 尚文 (アイルランド国立大学ダブリン校 (UCD) 社会科学・法学部 准教授) 介護ロボットの社会実装モデルに関する国際共同研究—人・ロボット共創型医療・介護包括システムの構築に向けて—	★
D18-ST-0008 江間 有沙 (東京大学 未来ビジョン研究センター 准教授) 人工知能の倫理・ガバナンスに関するプラットフォーム形成	
D18-ST-0028 高岡 昂太 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 研究員) 福祉分野における自治体のデジタルトランスフォーメーション促進の課題整理	★
D18-ST-0040 西條 玲奈 (大阪大学文学部 助教授) ケアの倫理から見る人とソーシャルエージェントの関係性とその社会的含意	★
D18-ST-0043 熊澤 輝一 (総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター 准教授) 人間と計算機が知識を処理し合う未来社会の風土論	★
D18-ST-0051 寺田 麻佑 (国際基督教大学教養学部 上級准教授) 先端技術を活用する社会制度の展開と課題に関する立法課題の研究—人工知能の活用と社会の受容・法・技術と倫理—	★
D18-ST-0058 楊井 人文 (特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ イニシアティブ (F I J) 事務局長) インターネット上の誤情報拡散を抑制するファクトチェック・ネットワーキング・システムの構築	★